

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 20 日(2024.12.20)

【公開番号】特開 2024-161092(P2024-161092A)
【公開日】令和 6 年 11 月 15 日(2024.11.15)
【年通号数】公開公報(特許)2024-214
【出願番号】特願 2024-144004(P2024-144004)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 12 日(2024.12.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、
前記特定判定の結果が所定結果となることに基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって
有利な特別遊技状態に移行させることが可能な手段と、
前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に
対応した報知結果とされるようにして、遊技回が行われるように制御する手段と、
を備え、

30

所定の第 1 条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由して移行し得る第 1 特定遊技状
態と、前記第 1 条件とは異なる所定の第 2 条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由
することなく移行し得る第 2 特定遊技状態とを有しており、
所定入球手段に対応して設けられ、前記所定入球手段に遊技球を受入可能な第 1 態様と、
前記所定入球手段に遊技球を受入不可又は前記第 1 態様よりも受け入れにくい第 2 態様と
に切替可能な可変手段を備え、
前記可変手段の切替制御モードとして、第 1 切替モードと、前記所定入球手段への入球が
前記第 1 切替モードより生じやすい第 2 切替モードとを有しており、
前記第 1 特定遊技状態にて前記可変手段を前記第 2 切替モードで切替制御することが可能
であり、前記第 2 特定遊技状態にて前記可変手段を前記第 1 切替モードで切替制御するこ
とが可能であり、

40

複数の図柄が可変表示される表示手段を備え、
前記第 1 特定遊技状態において、リーチ演出が実行されずに外れ結果が報知される完全外
れに対応する態様で前記複数の図柄が停止表示される場合の前記遊技回用動作の期間につ
いて、保留情報の記憶数が第 1 特定数の場合に保留情報の記憶数が前記第 1 特定数に比べ
て少ない場合よりも短い期間となることを可能とする第 1 手段と、
前記第 2 特定遊技状態において、前記完全外れに対応する態様で前記複数の図柄が停止表
示される場合の前記遊技回用動作の期間について、保留情報の記憶数が第 2 特定数の場合
に保留情報の記憶数が前記第 2 特定数に比べて少ない場合よりも短い期間となることを可
能とする第 2 手段と、
を備え、

前記第 2 特定数が前記第 1 特定数よりも大きい数であることを特徴とする遊技機。

50

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が所定結果となることに基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって
有利な特別遊技状態に移行させることが可能な手段と、

10

前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に
対応した報知結果とされるようにして、遊技回が行われるように制御する手段と、

を備え、

所定の第1条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由して移行し得る第1特定遊技状
態と、前記第1条件とは異なる所定の第2条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由
することなく移行し得る第2特定遊技状態とを有しており、

所定入球手段に対応して設けられ、前記所定入球手段に遊技球を受入可能な第1態様と、
前記所定入球手段に遊技球を受入不可又は前記第1態様よりも受け入れにくい第2態様と
に切替可能な可変手段を備え、

前記可変手段の切替制御モードとして、第1切替モードと、前記所定入球手段への入球が
前記第1切替モードより生じやすい第2切替モードとを有しており、

20

前記第1特定遊技状態にて前記可変手段を前記第2切替モードで切替制御することが可能
であり、前記第2特定遊技状態にて前記可変手段を前記第1切替モードで切替制御するこ
とが可能であり、

複数の図柄が可変表示される表示手段を備え、

前記第1特定遊技状態において、リーチ演出が実行されずに外れ結果が報知される完全外
れに対応する態様で前記複数の図柄が停止表示される場合の前記遊技回用動作の期間につ
いて、保留情報の記憶数が第1特定数の場合に保留情報の記憶数が前記第1特定数に比べ
て少ない場合よりも短い期間となることを可能とする第1手段と、

前記第2特定遊技状態において、前記完全外れに対応する態様で前記複数の図柄が停止表
示される場合の前記遊技回用動作の期間について、保留情報の記憶数が第2特定数の場合
に保留情報の記憶数が前記第2特定数に比べて少ない場合よりも短い期間となることを可
能とする第2手段と、

30

を備え、

前記第2特定数が前記第1特定数よりも大きい数であることを特徴とする。

40

50